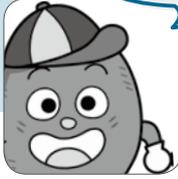


エコのことなら
僕にお任せ！



「とうかい環境村民会議」だより

Vol.28

環境活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指す「とうかい環境村民会議」の活動をシリーズで紹介していきます。

【問い合わせ】環境政策課環境計画・緑化推進担当(☎282-1711 内線1454)
🌐<http://www.tokai-kankyou-sonminkaigi.com/>



生ごみの“水切り”で、臭いもスッキリ！(実践編)

循環型社会部会

東海村の燃えるごみのうち、家庭から出される生ごみは1,263トン。その中に含まれる生ごみの80パーセントは水分で(Vol.24参照)、これらの水分を燃えるごみとして出す前に減らすことができれば、ごみの減量に大きな効果があり、税金の節約にもつながります。

まずは…

① 生ごみになるものを ぬらさない！

皮むきが必要な野菜や果物は、水洗いする前に皮むきして紙箱やざるに入れておき、シンクから離しておくこと炊事の水でぬれません。ぬれてしまった生ごみの水切りは大変です。**生ごみになるものを、できるだけ水にぬらさないこと**を心掛けましょう。

そして…

② 生ごみを しっかり乾かす！

ネットに入れて物干しで乾かしたり、新聞紙に包んで日当たりのよいベランダに半日くらい置いて乾燥させたりします。三角コーナーの生ごみは、一晩置くだけでもかなりの水分が減ります。生ごみの乾燥は、ごみの減量化につながるだけでなく、腐敗や悪臭を防ぐ効果もあります。

ちょっと
待って！

③ 捨てる前に、 生ごみの水分を しっかり絞る！



シンクの三角コーナーに入れてある生ごみを手で絞ることに抵抗のある方は、下写真のような道具を利用することで水切りができます。

【主な水切り道具(ペットボトルの飲み口部分を再利用)】



(出典：足利市ホームページ)

みんなで考えよう 東海村の外来種-4

■アレチウリ

6月ごろから、荒地や藪一面が、キュウリのような葉をしたツルの大群に覆われているのを見掛けることがあります。これは、最近東海村でも急速に増えてきている特定外来生物のアレチウリです。繁殖力が非常に強く、成長が早いため、他の植物を覆って枯らしてしまうなど、在来生物に大きな影響を及ぼしてしまいます。これ以上増えないよう、小さいうちに抜きとるなどして駆除していきましょう。

